

委員の皆さんの熱いご意見に感謝します。 第5回学校運営協議会

2月15日、学校教育目標2次案に対する協議を行いました。知徳体それぞれの案に対する大変熱いご意見をいただきました。

知 進んで学び、人と学ぶ

- ・地域との関わりも含められていて良い。
- ・子ども同士や先生だけでなく、地域の人とどう関わっていくかをさらに考えてもらいたい。
- ・学校の活動への保護者の参加に努めている。一層の広報に力を入れたい。
- ・「人」よりは「人々」とした方が良いのではないか。
- ・時間をかけ、大人と子どもがお互いに知り合いになるようにしていきたい。
- ・幼稚園でも子どもの主体性を重視している。目標には、子どもと一緒に保護者も育つという意味も含めたい。
- ・感動体験を元にした心情の教育を進めてほしい。
- ・「人」には過去の人物に学ぶという考えも含まれていると思う。地域の人物の活用を。
- ・人と学ぶについては、説明が必要だろう。
- ・文法的には「人とともに学び」とした方が他との整合性がある。しかし、この文言も新しい言葉として良いと思う。

徳 あたたかい言葉で支え合い

- ・今日の授業に表れていた良城でないといけない「良城イズム」を自信を持って進めてほしい。今までの取り組みに自信を持ってほしい。
- ・幼保小の連携を強めてほしい。地域はそれを支えたい。
- ・文言からは、良城小の心の教育では児童の自己有用感を育てたいと考えているのが分かる。子ども同士、教職員、地域が支え合うというとても良い言葉である。
- ・まず言葉から取り組んでいこうという具体的なイメージが分かり、取り組みやすい。
- ・まず言葉から入り、その後、態度に進化。

- ・言葉で伝えるという目標は家庭でも取り組みやすい。
- ・ありがとうやおはようが広がるのは良いことである。言葉で伝えるのは大切である。
- ・吉敷地域全体の目標となっていくと良い。

体 大切な心と体を自ら守る

- ・守るという文言には、防災も含め健康、体力、安全を含んでいる。
- ・“守る”だけではなく、さらに高めていく、鍛えるというプラス指向の文言もほしい。
- ・「大切な心と体」という言葉は感動的である。とても良いと思う。
- ・今は「生きる力」「生き抜く力」が求められているが、これでは小学校としては荷が重いと思われる。このくらいがいいのでは。
- ・体の目標は他に比べると深い感じがする。
- ・新目標を子どもにどのように示していくのか。各教室に掲げると良い。

この様に、各委員さんからは、新目標を設定するに当たって、知徳体の各分野について、とても深い話し合いが行われました。これぞ熟議という協議でした。

多様な意見に対し、ある委員からは、「たくさん意見が出ることは良いが、そのまま取り入れるのではなく、一つの意見として聞いて下さい。」というお話もいただきました。私は、「このような話し合いをすること自体に意味がある」とお答えしました。

後日、林PTA会長さんからは、この会議の話し合いは本当に有意義だった、これからの子どもの姿について真剣に考えた、と話しておられました。

この話し合いを受けて、第3次案として以下のように変更します。

ふるさと吉敷を愛し、進んで学び、人と学び、あたたかい言葉で支え合い、大切な心と体を自ら守る児童を家庭、地域とともに育成する。